

経営比較分析表（令和4年度決算）

熊本県 宇土市

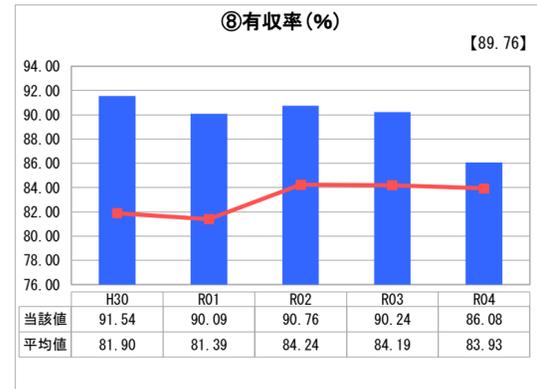
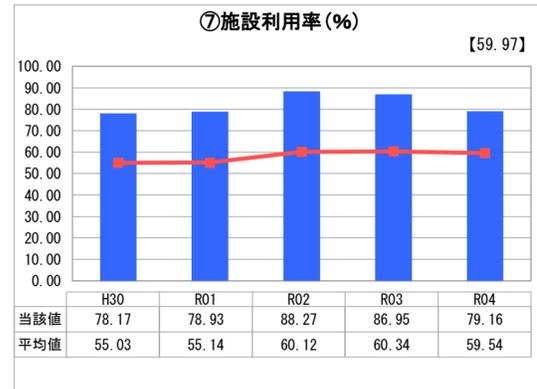
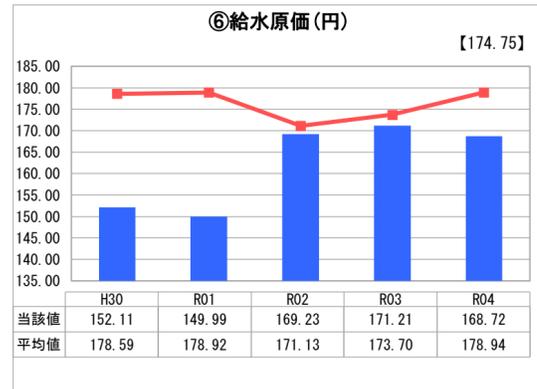
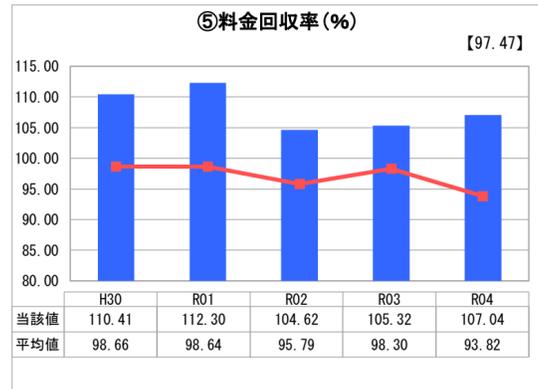
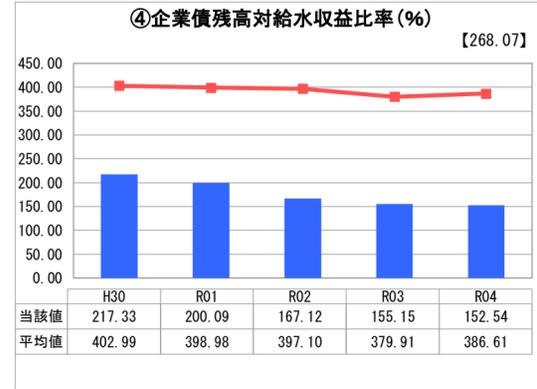
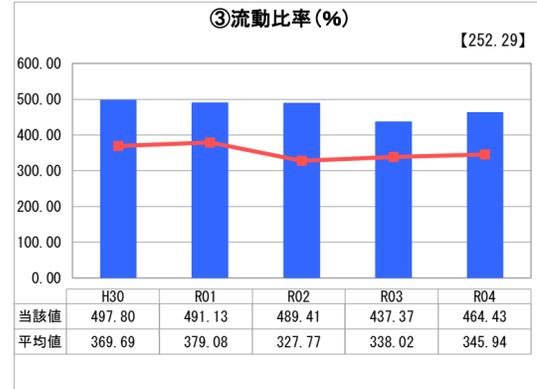
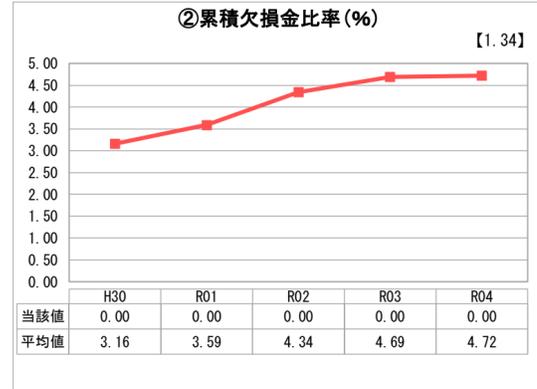
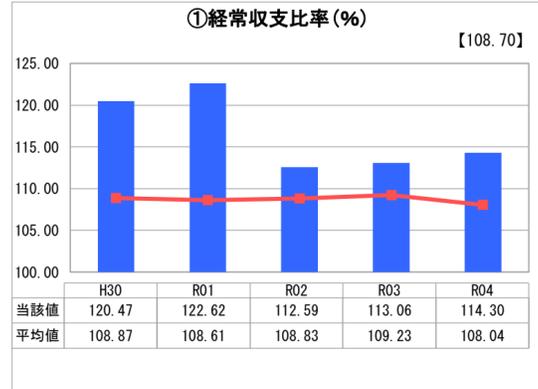
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	75.56	85.06	3,780	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
36,483	74.30	491.02
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
31,016	24.85	1,248.13

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

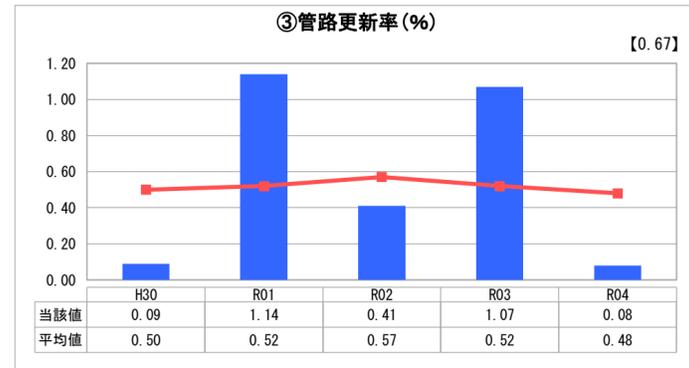
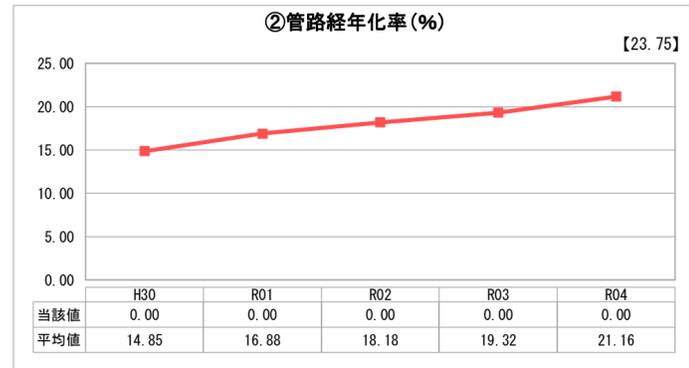
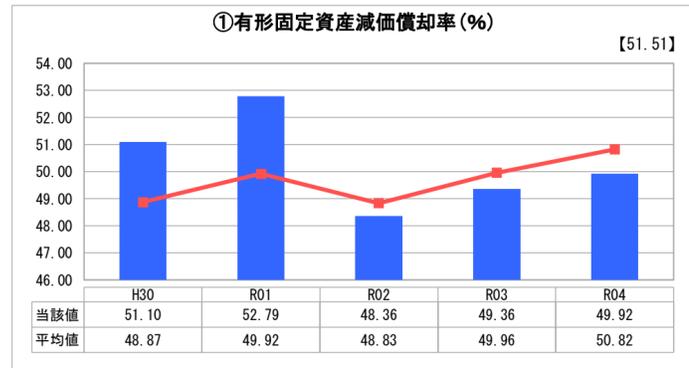
1. 経営の健全性・効率性について

① ② 経常収支比率は100%を上回っており、累積欠損金もないことから、健全な経営を維持している。
 ③ 流動比率は464.43%で、類似団体よりも高い水準であり、現金は十分に確保されている。しかし、公共下水道事業からの徴収委託費に依存している部分があるため、料金収入で賄えることが望ましい。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体より低い数値となっており、今後もこの状態を続けていけるよう努めていく。
 ⑤ 料金回収率は100%を上回っており、類似団体と比較しても高い水準である。今後は、更新工事等に充てる財源を確保しつつ、健全経営に努める。
 ⑥ 給水原価は168.72円で、類似団体より低い水準を維持している。
 ⑦ 施設利用率は、類似団体より高い水準である。今後人口減少に伴い、施設利用率の減少が見込まれることから、広域連携による施設規模の縮小など検討していく必要がある。
 ⑧ 有収率は86.08%で類似団体よりも高い水準となっている。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、年々増加している。今後、更新時期を迎える管路及び施設があり、建設改良費における積立金等を増加するよう努めたい。
 ② 管路経年劣化率は、0%となっているが報告誤りであり、実際はR3・4とも30%程度である。今後は、アセットマネジメント計画に基づき計画的に進めていく。
 ③ 管路更新率は、類似団体に比べ低い水準となっている。今後老朽化が進むため、計画的に管路更新を行っていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

本市は、類似団体と比較しても経営の健全性は確保されている。今後は、アセットマネジメント計画に基づき健全経営に引き続き努めていく。併せて将来の水需要に見合った適正な施設規模への更新に取り組んでいく。